

フットボールセンター計画

都道府県フットボールセンターは日本サッカー協会が認定する施設。サッカーグラウンドやクラブハウス等が整備され各都道府県のサッカーの拠点施設となります。

計画は中止を！

町長 ▶ 3月議会に提案する



野口昌作 議員

〔野口〕 山香荘は、町民の利用がほとんどない中で、毎年多額の町費が注ぎ込まれている。

フットボールセンター計画で町費の注入は少なく、山香荘の有効利用と地域活性化が図れるとしている。

人口が減少している社会情勢、財政が苦しい現状で、町民がほとんど利

用できないサッカー場を建設するのか。計画は中止すべきと考

〔町長〕 本施設は町民

の利用よりも、町外・県外の人の利用で交流人口を増加させ、地域経済の活性化を図ることが目的。

フットボールセンターを整備し、スポーツ合宿を中心とした運営にする。

交流人口増加による地域活性化構想の中で検討を重ね、3月議会に提案する。

論争！

町有地の活用方法は？

町長 ▶ 最後は議会の議決



米本隆記 議員

〔米本〕 後期総合計画の説明会の時、あわせて山香荘の利活用計画を町民に説明した。しかし、今までに活用方法の募集

募集しているが、反対意見が多い時は計画の廃止や変更を考えるのか。また、他の町有地も具

〔町長〕 職員による検討や所在地区への要望調査をして、町民の意見や要望を行政に反映している。

いま、山香荘の町民の利用はほぼない状態。今回の再整備構想で、より

町民が利用しやすい施設にする。

町民の反対意見が多いということは、本会議で議員の過半数に反対されると認識している。耳に届いた範囲での多数意見にしたがって行政を推進することは無責任と考える。

議会で十分な議論をし、施策を決定することが、議会制民主主義であると考える。